

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌

かわさき アートニュース



Vol. 258

2017年12月号

THE KAWASAKI FOUNDATION



インタビュー／岡 幸二郎さん
(ミュージカル俳優)

MUZA ジルベスター コンサート 2017

12.31(日)開演15:00
(14:15開場／17:15終演予定)

ミューザ川崎シンフォニーホール

CONTENTS[目次]

02 | 特集

MUZAジルベスターコンサート2017

04 | 音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

10 | 美術

市内ギャラリー情報

13 | 演劇

アルテリオ小劇場

14 | 映画

アルテリオ映像館

大晦日は、歌合戦♪ MUZA ジルベスター コンサート 2017

インタビュー: 岡 幸二郎さん
(ミュージカル俳優)



ミューザ川崎シンフォニーホールで大晦日に行われるジルベスターコンサート。毎年、一年の聴き納めにふさわしい豪華プログラムをお届けしている好評企画です。

今年は東京交響楽団と名匠・秋山和慶さんの名コンビで、第1部は新年を先どりするようなワルツやポルカの名曲を、そして第2部はミュージカル界のスター歌手の方々を迎え、珠玉のミュージカル・ナンバーをお楽しみいただきます。

今回、歌とともに第2部のナビゲーターもお務めいただき、日本を代表するミュージカルスター、岡幸二郎さんにコンサートの聴きどころ、そしてミュージカルの魅力についてお話を伺いました。

3歳で初舞台

—— 歌との出会いはいつ頃だったのでしょうか？

人前で初めて歌ったのは3歳のときです。ちゃんと生のバンドをバックに、マイクを握りしめて歌っている写真が残っているんですよ。

実家は電気屋なのですが、私の祖母は詩吟と謡を教えていて、姉もピアノの先生になったので、音楽の道に進む環境があったといえそうかもしれませんね。

店にはカラオケの機械も置いていたので、店を閉めた後によくそれで歌っていました。両親は仕事があって、私は祖母と一緒にいる時間が長かったので、祖母世代の歌ばかり歌っていました。初めて人前で歌ったときの曲は「芸者ワルツ」。ふつう3歳の子は歌わないですよ(笑)。だからきっと、お客さんは余計に面白がって拍手したんでしょうね。

歌った記憶はほとんどないのですが、拍手された記憶は残っていて、「役者は三日やったらやめられない」と言いますが、拍手をもらう快感をそこで覚えたのでしょうか。

ミュージカルの世界へ

—— 岡さんは、今年デビュー28年目を迎えられました。この世界に入ったきっかけについてお聞かせください。

15歳のとき、劇団四季のミュージカル『コーラスライン』を見て衝撃を受け、ミュージカルをやろうと思いました。何かきっかけをつかもうと、芸能情報が載っている雑誌を読んで、ミュージカルの全国オーディションを見つけて受けたのですが、その時は落ちました。でも後から、審査をしていたプロデューサーの方から「もし君が本当にやる気があるんだったら東京に出てきな

さい」と手紙をもらいました。そのお誘いには乗れなかったのですが、2年前にその方が30何年ぶりに「岡君」と声をかけてくれて、とても嬉しかったですね。

ミュージカルのため上京

—— 大学では中国語を専攻されていたそうですね。

中国語を選んだのは、「これからは中国語の時代が来る」と考えたからです。

あと、「まずは東京に出ないとミュージカルが出来ない」と思っていたので、東京の大学を選んで上京しました。私は5歳からずっと書道をやっていたので、書道で一番有名な大学に行こうと思って、大東文化大学に進みました。

大学4年生の時に、ミュージカル『イダマンテ』で初舞台を踏みしました。その時に、初めて父親を福岡から東京に呼んだのですが、一緒に舞台に立っていたのが、近藤真彦さんや夏木マリさんという有名人の方々だったので、父も「おっ」と思ったんでしょうね。何も言わずに帰っていましたが、その代わり「やめろ」とも言われませんでした。

同じ年に劇団四季のオーディションを受けて合格し、大学卒業と同時に本格的にミュージカルの世界に入りました。その後、東宝の『レ・ミゼラブル』のオーディションに受かったので、劇団四季は3年で退団し『レ・ミゼラブル』には17年間出演しました。

ミュージカルの仲間たちとの歌合戦

—— 共演なさる歌手の方々についてお聞かせください。

ミューザのジルベスターコンサートに出演する歌手たちは、日ごろ舞台でも共演し

ている仲間たちです。

石井一孝さんは『レ・ミゼラブル』での共演から23年来、ずっと同じ道を歩んできた大親友です。

土居裕子さんは、富山でやったミュージカル『ショウ・ボート』で一緒しました。何をやってもお上手で何でも歌える方です。

木下晴香さんは、今年、東京と大阪で上演した『ロミオ & ジュリエット』のミュージカルで一緒でした。彼女は当時まだ高校生でしたが、オーディションに受かって、母親と二人で東京に出てきていました。公演中だったため3月の卒業式に出られなくて、担任の先生が卒業証書をもって公演を観に来たんですよ。

私は大学でも教えているのですが、今の若い人はとても技術が高くて、度胸もある。でも、いくら上手くても出演する場がないと経験を積みません。経験が一番の力になるので、私たちが場所をあけて風通しをよくしてあげたいと思います。木下さんはもう次の舞台も決まっているので、どんどん経験を積んで頑張ってもらいたいですね。

フル・オーケストラとの共演

—— 今回のコンサートでは、フル・オーケストラをバックに歌われますね。

実は、大学のときに晋友会という合唱団に所属していました。その時、小澤征爾さんや多くの著名な指揮者やオーケストラと共演したんですよ。

ミュージカルで歌うときは、オーケストラは歌手より前で演奏していますが、ソロで歌うときは、オーケストラは歌手の後ろで演奏します。背後から音の圧を全身に受けるので、体を作らないと負けてしまいます。カラ



オーケストラをバックに拍手を受ける岡さん
©三浦興一(写真提供 公益財団法人文京アカデミー)

オケみたいに、手動でボリュームを調整できませんしね(笑)。ですから、初めてソロでフル・オーケストラと共演したときは、一曲ごとに水を飲まないと喉がカラカラになるくらいに緊張しました。

オーケストラとの共演はここ数年でとても増えたのですが、横隔膜が発達してきたみたいで、洋服を着ていても分かるほど、肺の下の辺りがボコッと飛び出るようになったんです。きつと体が自然に変わっているんでしょうね。フル・オーケストラをバックに歌うのは、とても気持ちが良いです。

誰もが自然にやっているミュージカル —— ミュージカルの魅力についてお聞かせください。

歌があって、踊りがあって、お芝居があって、非現実的な世界を体験できる。そこが一番の魅力だと思います。

私たちもふだん生活をしていて、うれしいことがあったらいつの間に鼻歌を歌っていたり、足取りが軽くなったりすることがありますね。それを大げさにしたのがミュージカルだと思うんです。だから、観ている方の気持ちが舞台上でやっていることにリンクしていくと、観終わって「楽しかった!」という気持ちになる。その部分が魅力なのではないでしょうか。

今年は映画でも『美女と野獣』がヒットして、『レ・ミゼラブル』もそうですけれど、ミュージカルがどんどん実写映画になっているので、今までミュージカルを観たことがない方々にも浸透していつているのではないかと思います。

感情のひだを聴かせる

—— クラシックファンにミュージカルの魅力を伝えるとしたらいかがでしょうか?

マイクを使って歌うことは、ふだんクラシックで生の声を聴いているお客さんには抵抗があると思います。もちろん、生の声とオーケストラとの融合は素晴らしいのですが、マイクをただの拡声器とは思わずに、マイクを使うことで微妙な表現が可能になることを分かってもらえれば良いなと思います。

声や音を聴かせるのがクラシックだとすれば、ミュージカルはもう少し感情のひだを聴かせるもの。それをオーケストラとどう融合させるのが、難しいところでもあります。マイクを使って歌う技術はとても大事なことで、歌手もしっかり勉強しなければなりません。



ミュージカルに対する情熱を語って下さる岡さん

観客を引き込む技術

—— これまでに印象深かった舞台はありますか?

グレン・クロウズという大女優が主演のミュージカル『サンセット大通り』をロサンゼルスまで観に行ったときに「ああ、ミュージカルは歌わなくてもいいんだ」と、初めて思いました。

彼女は、高らかに歌い上げない。でも、観る側はものすごく感動します。恐らく歌い過ぎて感情を提供し過ぎると、お客さんが引いてしまうんですね。歌わないと、逆にお客さんが引き込まれていく力が働くんだと思います。

今回のコンサートはこの『サンセット大通り』の序曲でスタートしますが、すごく素敵な曲で、最初の一言が流れただけでグッとくる名曲です。これは演出の原純さんの選曲で、彼とは劇団四季にいるところからの知り合いですが、共演するのは初めてなので今から楽しみです。

—— お客様へのメッセージをお願いします。

12月31日は忙しい日だと思いますが、年の暮れにミュージカルを聞いて、心軽やかに気持ちよくなって楽しんでいただいて、新年を迎えてくだされば、うれしいです。

第1部も楽しいコンサートになるでしょう。

今回、私の歌う『オペラ座の怪人』のナンバーではパイプオルガンも入るので、迫力が出ると思います。パイプオルガンってなかなか聴く機会がないので、それも楽しみの一つかなと思います。

楽しめる環境作り

—— 今後の活動についてお聞かせください。

自分も好きでこの世界に入って来ましたが、これまで続けてこれたのは、やっぱり楽しかったからという単純な理由だと思います。その楽しさをこれからも伝えていきたいですし、お客さんにも難しいことは抜きに「ミュージカルって楽しい!」と思ってもらえたらうれしいですね。

そして、ミュージカルの楽しさを伝えるには、自分たちが楽しめる環境を作ることが一番大切だと思うようになりました。どんな仕事をしている方もそうだと思いますが、好きだけではやっていけないこともありますよね。その中で楽しいと思える環境を作りながら、少しずつ次の世代にバトンタッチをしていきたいですね。

演奏会概要

Information

MUZA ジルベスター コンサート2017

好評
発売中!!

[日時] 2017年 12/31(日)

15:00開演(14:15開場)

[会場] ミューザ川崎シンフォニーホール

[出演] 指揮: 秋山和慶 演出: 原 純
ヴォーカル: 岡 幸二郎、土居裕子、
石井一孝、木下晴香

オーケストラ: 東京交響楽団

[曲目] ~第1部~

魅惑のワルツ・ボルカ

オフペンバック: 喜劇劇『天国と地獄』より 序曲
ヨハン・シュトラウスⅡ世: ワルツ「酒、女、歌」
レハール: ワルツ「金と銀」 他

~第2部~

スター歌手によるミュージカル特集

サンセット大通り~オーヴァーチュア
僕の願い(ノートルダムの鐘)
カラー・オブ・ザ・ウインド(ボカホンタス)
ミュージック・オブ・ザ・ナイト(オペラ座の怪人)
オン・マイ・タウン、スターズ(レ・ミゼラブル)
デイス・イズ・ザ・モーメント(ジキル&ハイド) 他

[チケット] S席 ¥7,000 A席 ¥6,000
B席 ¥5,000 C席 ¥4,000

[チケットお申込み・お問合せ]

ミューザ川崎シンフォニーホール
044-520-0200(10:00~18:00)



プロフィール

Profile

岡 幸二郎 Kojiro Oka

福岡県出身。大学卒業後、劇団四季にシーズンメンバーとして参加。「オペラ座の怪人」「クレイジー・フォー・ユー」「アスペクト・オブ・ラブ」等に出演。

1994年「レ・ミゼラブル」のアンジールラス役をオーディションで射止め、その華やかな風貌と圧倒的な歌唱力で一躍ミュージカルスターへと躍進した。2003年からは同作品でジャベール役を演じ、17年に亘り「レ・ミゼラブル」に参加した。

ミュージカルのほか、ストレイトプレイやTV(NHK大河ドラマ「義経」など)、CM、フル・オーケストラからライブハウスまでのコンサート、トークショーなども精力的に行っている。2014年にデビュー25周年を記念して作られたアルバム『ベスト・オブ・ミュージカル』が好評を博している。



ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

聖なる響きとともに、声の可能性を探る

MUZAランチタイムコンサート&ナイトコンサート60

【日時】2017年12月12日(火)

ランチタイムコンサート 12:10開演

ナイトコンサート60 19:00開演

【出演】声楽アンサンブル:ヴォクスマーナ(指揮:西川竜太)

【曲目】メシアン:おお 聖なる饗宴

デュリュフレ:グレゴリオ聖歌の主題による4つのモテット

松平頼暁:衝突(2009) ほか

【チケット】●ランチタイムコンサート 全席自由500円

●ナイトコンサート60 SS指定席2,000円、自由席1,000円



ヴォクスマーナ



西川竜太

熱血漢IIMORIの「第九」

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第132回

【日時】2017年12月17日(日) 14:00開演

【出演】指揮:飯森範親

ソプラノ:鷺尾麻衣、メゾ・ソプラノ:池田香織

テノール:又吉秀樹、バス:ジョン ハオ

合唱:東響コーラス

【曲目】モーツァルト:交響曲第30番

ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」

【チケット】S席7,000円 A席6,000円

B席4,000円 C席3,000円

25歳以下の学生1,000円(要問合せ)※当日券のみ ※残席がある場合のみ販売



鷺尾麻衣

池田香織

又吉秀樹

ジョン ハオ

残数
僅少

天才作曲家たちのロシア音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第133回

【日時】2018年1月13日(土) 14:00開演

【出演】指揮:飯森範親

ピアノ:アレクサンダー・ガヴリリュク

【曲目】プロコフィエフ:交響曲第1番 二長調「古典交響曲」

プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第1番 変二長調

ムソルグスキー/ラヴェル編:組曲「展覧会の絵」

【チケット】S席6,000円 A席5,000円

B席4,000円 C席3,000円

25歳以下の学生1,000円(要問合せ)※当日券のみ



アレクサンダー・ガヴリリュク



飯森範親



小野田良子

(パイプオルガン&ピアノ)

Ryoko Onoda, Pipe organ&Piano



日野皓正

(スペシャル・ゲスト／トランペット)

Terumasa Hino, Trumpet (Special Guest)



高木潤一

(フラメンコギター)

Junichi Takagi, Flamenco Guitar



藤橋万記

(パーカッション)

Maki Fujihashi, Percussion

MUZA Pipe Organ Christmas Concert 2017

MUZA パイプオルガン クリスマス・コンサート2017

ドゥエンデ
～精霊が舞い降りる時～

J.S.バッハ：前奏曲とフーガ イ短調 BWV 543

高木潤一：メランコイン

A.ハイラー：アヴェ・マリス・ステラ

シベリウス：フィンランディア

チュニジアの夜

クリスマス・ラブ・ソング 他

2017年12月23日(土・祝) 開演14:00(開場13:30)

会場・お問合せ ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200

チケット 全席指定：¥3,500 [¥3,150] 学生券(小学生～25歳以下の学生)：¥1,000 ※税込/[]内は友の会会員料金

12月

2017年

ミュージア川崎シンフォニーホール
コンサートカレンダー
CONCERT CALENDAR

「12月の催し」

*チケット料金、残席情報等は各公演の
お問い合わせ先までお尋ねください。

主催公演
2土
15:00

第8回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル

出演：東邦音楽大学(指揮：梅田俊明) 国立音楽大学(指揮：尾高忠明) 洗足学園音楽大学(指揮：秋山和慶)
ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 作品88(東邦) / プラームス：交響曲第2番 ニ長調 作品73(国立) / マーラー：交響曲第1番 ニ長調「巨人」(洗足)

3日
14:00

慶應義塾大学ウィンドアンサンブル 第78回 定期演奏会

指揮：津田雄二郎
ヤン・ヴァンデルロースト：交響詩「モンタニャールの詩」 / 真島俊夫：Mont. Fuji ～北斎の版画に触発されて / 中橋愛生：委嘱新作

お問合せ：慶應義塾大学ウィンドアンサンブル
kwe.concert2017@gmail.com

9土
13:30

ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2017後期 「迫力のロシアの歌」ボーカデミア ボーカルアンサンブル

ボーカルアンサンブル：ボーカデミア
ラフマニノフ：神の御母よ、喜べ / カリストラトフ：魂が呼びかける / ロシア民謡 / ウクライナ民謡 他

お問合せ：神奈川芸術協会 045-453-5080

主催公演
10日
15:00

東京交響楽団 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」(演奏会形式)

指揮、ハンマーフリーゲル：ジョナサン・ノット ドン・ジョヴァンニ：ミハエル・ナジ 騎士長：リアン・リ レポレツロ：シェンヤン ドンナ・アンナ：ローラ・エイキン
ドン・オッターヴィオ：アンドリュウ・ステープルズ ドンナ・エルヴィーラ：エンジェル・ブルー マゼット：クレシミル・ストラジャナツ ツェルリーナ：カロリーナ・ウルリヒ
管弦楽：東京交響楽団 合唱：新国立劇場合唱団 演出監修：原 純 モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」(演奏会形式、全2幕、日本語字幕)

主催公演
12火
12:10
19:00

MUZAランチタイムコンサート12月 聖なる響きとともに、声の可能性を探る

声楽アンサンブル：ヴォクスマーナ(指揮：西川竜太)
メシアン：おお 聖なる饗宴 / デュリュフレ：グレゴリオ聖歌の主題による4つのモテット 作品10 / 松平頼暁：昇天日のための聖餐式曲 他

MUZAナイトコンサート60 メシアン：おお 聖なる饗宴 / デュリュフレ：グレゴリオ聖歌の主題による4つのモテット 作品10 / 松平頼暁：Anthem 他

16土
13:30

クラリネット合奏団 クラノワ・カルーク・オーケストラ 第20回定期演奏会

指揮者：堺 武弥・山口俊一 クラリネット独奏：伊藤寛隆(日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者)
R.ワーグナー：「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より / 真島俊夫：グラナディア組曲(当団委嘱作品) / P. サラサーテ：カルメン・ファンタジー(客演：伊藤寛隆) 他

お問合せ：
クラノワ・カルーク・オーケストラ
clanowa@gmail.com(福岡)

主催公演
17日
14:00

ミュージア川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団 名曲全集 第132回

指揮：飯森範親 ソプラノ：鷲尾麻衣 メゾ・ソプラノ：池田香織 テノール：又吉秀樹 バス：ジョン ハオ 合唱：東響コーラス
モーツァルト：交響曲第30番 / ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」

19火
19:00

交声曲『海道東征』

指揮：北原幸男 ソプラノ：幸田浩子、盛田麻央 アルト：田村由貴絵 テノール：小原啓楼 バリトン：原田圭 管弦楽：東京交響楽団
ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」 / 信時潔：交声曲「海道東征」

お問合せ：サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(10時~18時)

20水
17:45

東海大学付属高輪台高等学校 第28回定期演奏会

指揮：畠田貴生 福島弘和：交響的狂詩曲 他

お問合せ：東海大学付属高輪台高校
吹奏楽部 03-3448-4011

主催公演
23土祝
14:00

MUZAパイプオルガンクリスマス・コンサート2017~精霊が舞い降りる時~

パイプオルガン&ピアノ：小野田良子 スペシャルゲスト：日野皓正(トランペット) フラメンコギター：高木潤一 パーカッション：藤橋万記
J.S.バッハ：前奏曲とフーガ イ短調 BWV 543 / チュニジアの夜 / A.ハイラー：アヴェ・マリス・ステラ / シベリウス：フィンランディア / クリスマス・ラブ・ソング 他

24日
14:00

~150万人都市記念~ 2017かわさき市民第九コンサート

指揮：吉田行地 管弦楽：高津市民オーケストラ ソプラノ：田川聡美 メゾ・ソプラノ：藤井麻美 テノール：堀江真継男 バリトン：武田直之
合唱：2017かわさき市民第九合唱団コーラス 【一部】フンパーディンク：歌劇「ヘンデルとグレーテル」前奏曲 【二部】ベートーヴェン：交響曲第9番ニ短調「合唱付き」

お問合せ：2017かわさき市民第九実行委員会 090-2751-8477(鈴木)

26火
19:00

横浜市立大学管弦楽団 第48回 定期演奏会

指揮：佐々木新平
ショスタコーヴィチ：交響曲第5番「革命」 / チャイコフスキー：テンペスト / ポロディン：交響詩「中央アジアの草原にて」

お問合せ：横浜市立大学管弦楽団
080-5184-2747

28木
18:00

横浜国立大学吹奏楽団 第34回 定期演奏会

ヤン・ヴァンデルロースト：ダイナミカ / パーンズ：オズの魔法使い / フェレル・フェラン：交響組曲「ピノキオ」

お問合せ：080-8871-8112(浅野)

主催公演
31日
15:00

MUZAジルベスターコンサート2017

指揮：秋山和慶 ヴォーカル：岡幸二郎、土居裕子、石井一孝、木下晴香 オーケストラ：東京交響楽団 演出：原 純
【一部】オッフェンバック：喜歌劇「天国と地獄」より序曲 / ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「酒、女、歌」 他
【二部】『サンセット大通り』より オーヴァーチュア / 僕の願い(ノートルダム鐘) / ホール・ニュー・ワールド(アラジン) / カラー・オブ・ザ・ウインド(ボカホントス)
ミュージック・オブ・ザ・ナイト(オペラ座の怪人) オン・マイ・オウン(レ・ミゼラブル) / ディス・イズ・ザ・モーメント(ジキル&ハイド) / スターズ(レ・ミゼラブル) 他

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ：ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel.044-520-0200(10:00-18:00)

ミュージア川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314 <http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分

江戸時代の粋に遊ぶ その29 「お座敷遊び」

数少ない女形芸者のまつ乃家栄太朗さん達と共に、粋なお座敷遊びをぜひ体験してください。

日時：12月9日(土)14時から(13時半開場)

料金：1,500円

定員：先着80名(自由席)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：まつ乃家栄太朗



プロフィール

まつ乃家栄太朗

1986年東京生まれ。芸者置屋の家に生まれ、10歳の頃よりお座敷に出始め、2009年に他界した先代女将まり子の遺志を引き継ぎ、二代目女将となる。数少ない女形芸者として、日夜芸事に励み、精一杯お座敷を務めている。大森海岸を本拠地にするも全国からお座敷がかり、伝統を継承しつつも現代の粋なお座敷遊びを追求している。

第7回 前座・二ツ目奨励 「お昼の落語」

日頃から師匠のお世話・嘶の修業・高座の裏方として頑張っている前座さん、真打昇進を目指す二ツ目さん。若手を激励し、精進を応援する落語会になってゆけば幸いです。今回は、前座の春風亭一猿さん、二ツ目の林家たこ平さんです。お楽しみに。

日時：12月20日(水)14時から(13時半開場)

料金：無料 定員：先着80名(自由席)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：前座 春風亭一猿

二ツ目 林家たこ平



春風亭一猿

林家たこ平

企画展

「県立川高の90年と昭和の川崎」

川崎で最初の高等教育の場として県立川崎高校が誕生したのは昭和2年。「川高」の歴史はまさに「昭和」とともに始まった。同校の歴史と川崎市の歩みを重ね合わせて昭和時代を振り返る資料写真パネルの展示です。

日時：開催中～12月17日(日)

9時から17時まで

料金：無料

会場：東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室



展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



第6回 お昼の落語



第6回前座・二ツ目お昼の落語がありました。若手落語家を激励し精進を応援する会です。初めは前座 柳亭市若さんの『初天神』。天満宮で行われるお祭りに父と子が参拝に出かけるお話。お祭りには出店が付き物です。子が団子をせがむシーンや食べているところがこの噺の見せ場でしょう。市若さんの団子の食べ方がなんともおかしくかわいらしかったです。

続いて、二ツ目 古今亭駒次さん。駒次さんは古典よりも新作落語派。特に鉄道が好きで電車ネタも多く作っているそうです。前半は『ガルトーク』。とある喫茶店で、主婦達のカゲグチ・近所の人の噂話大会。そういう話をしている時の顔ってすごく輝いているもので…。オチも納得のいく笑い話でした。後半は『公園のひかり号』。新作オリジナル人情噺。新幹線の車掌だったおじさんと引っ越してきたばかりの少年とのお話。少年がとある公園に行ってみると、ひとりで新幹線ごっこをしているおじさんが。初めはただの変人なのかと思ったら…。最後は聞いていて涙が出そうになりました。また鉄道好きということから、細かい車内アナウンスの場面など聞きどころがあり魅力的でした。

今回は、12月20日(水)午後2時からです。お楽しみに。

(9月20日 東海道かわさき宿交流館)

アート講座



毎年ゴールデンウィークに開催し、来年10回目を迎える、川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)。本芸術祭をより楽しんでいただくために、多彩なジャンルの一流講師を迎え、全10回にわたって舞台芸術の魅力や、芸術祭運営について学べる講座の第1回を開催しました。

今回は「児童演劇の世界」と題して、劇作・演出家のふじたあさやさんと、劇団飛行船の鈴木徹さん、人形劇団ひとみ座の森元勝人さんが登壇しました。

両劇団は川崎に本拠地を置き、飛行船は51年、ひとみ座は70年にわたって、子どもたちに夢と感動を届ける芝居を作り続けて

きました。劇団の紹介や、「子どものための芝居はなぜ必要なのか」についてトークセッションを行い、集まった約250名の受講者たちは児童演劇の世界を堪能していました。

アート講座は、来年3月まで開講します。ご興味のある方は、事務局(TEL044-952-5024)までお問い合わせください。

(10月7日 新百合トウェンティワンホール)

狂言全集 第9回



大蔵流狂言山本家の能楽師を迎え、「狂言全集」を開催しました。

約200番ある狂言をシリーズでお届けするこの公演。今回は、末広の意味を知らない家来と主のやり取りが楽しい「末広」。春の野原でつくしを摘み取っていた二人が喧嘩に発展する様子がおかしい「土筆」、禰宜と山伏という全く違う職業人の対照を面白く描いた「禰宜山伏」の三番を上演しました。

最後は、毎年大好評をいただいている人間国宝 山本東次郎師によるお話。演目ごとの分かりやすい解説と、今も昔も変わらない人間の愚かしさを笑にくるんで表現する狂言の魅力を語ってください、観客の皆さまは傾きながら聞き入っていました。お話の締めくくりには小舞を披露して下さり、充実の時間となりました。

- 最後の東次郎さんのお話が勉強になり、良かったです。(60代/女性)
- また機会を見て鑑賞する気持ちになった。日本の古典芸能に開眼。

(70代/男性)

(10月21日 川崎能楽堂)

江戸時代の粋に遊ぶシリーズ その28「水芸」



江戸時代の粋に遊ぶシリーズ、今回は「水芸」でした。あいにくの雨でしたが、たくさんのお客様に来ていただきました。

こちらは、朝から大掛かりな舞台づくりに追われ、いざ本番。1部は手妻、2部に水芸でした。日本奇術の中でも水芸の後継者がいないというピンチの状態。今回は松旭斎正恵さんが監督&演出としてご尽力下さり、手妻師である葉月美香さん・KYOKOさん・

和田奈月さんの3人が水芸を披露してくださいました。着物を着ながら動く所作の美しさ、独特のセリフ回しに口上、これらは歌舞伎のような伝統的な「型」なのだなと感じました。日本的な芸だと思いました。

今回は、12月9日(土)午後2時から「お座敷遊び」。出演者はまつ乃家栄太郎さんです。お楽しみに。

(10月21日 東海道かわさき宿交流館)

Noriko's Day Vol.5 小川典子ピアノ・リサイタル



小川典子によるピアノ満載の企画「Noriko's Day」は今年で5回目の開催。毎年、ただのリサイタルではないユニークな企画が好評です。今回はリーズ国際ピアノコンクール入賞から30周年を記念したリサイタルとなりました。ベートーヴェン「熱情」、リストのソナタという王道プログラムに加え、山根明季子(写真右)をゲストに招き、氏の作品「イルミネイテッドベイビー」を演奏。アンコールとして、小川さんが公開レッスンを行ったアマチュアピアニストたちの演奏があり、終演後はハロウィン仮装にもぎやかな懇親会が行われました。

(10月21日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

川崎市アートセンター開館10周年記念事業 しんゆりシアターミュージカル公演 「ねこはしる」



川崎市アートセンター開館10周年を記念し、新百合ヶ丘で長年愛されてきた作品を上演しました。野原を舞台に、ドジでのろまな子猫のランと小さな魚の成長と友情を中心に、それを穏やかに見守るたくさんの動物や植物たちによるほのぼのとした物語です。音楽はダンスナンバーやバラードだけでなくカントリーやラップなど様々なジャンルを次々と展開し、親子連れの姿も多い中、最後まで飽きることなく集中して観て頂くことができました。悲しくも希望のあるラストシーンでは、テーマである〈いのちのかがやき〉が届いたようです。

(10月14日~22日 アルテリオ小劇場)



アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分、京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

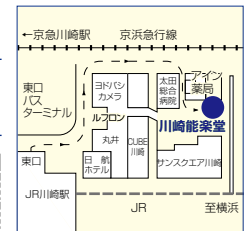
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

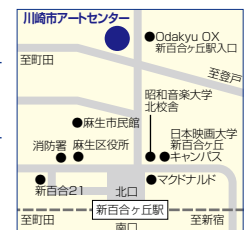
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151 <http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター

貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

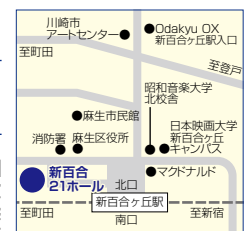
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分

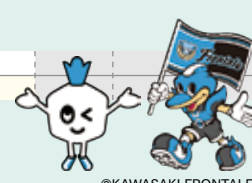


アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □ = 休館日

Event Calendar

2017.12

		1 Fri	2 Sat	3 Sun	4 Mon	5 Tue	6 Wed	7 Thu	8 Fri	9 Sat	10 Sun	11 Mon	12 Tue	13 Wed	14 Thu	15 Fri	16 Sat	17 Sun	18 Mon	19 Tue	20 Wed	21 Thu	22 Fri	23 Sat	24 Sun	25 Mon	26 Tue	27 Wed	28 Thu	29 Fri	30 Sat	31 Sun					
アートガーデンかわさき 〈川崎区〉 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日 12月28日～1月4日	第1展示室	堀野書道学校 選抜展 ～12月3日(日)			須山会100人展 12月5日(火)～10日(日)							第13回 新世紀美術協会 東京支部展 12月12日(火)～17日(日)							川崎市障害者作品展 12月20日(水)～24日(日)																		
	第2展示室				第6回 木美会展 12月5日(火)～10日(日)							蘭寿と仲間たち 12月20日(水)～24日(日)																									
	第3展示室				JFE京浜陶芸展 12月5日(火)～10日(日)																																
幸市民館市民ギャラリー 〈幸区〉 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)								日旺油絵教室 幸油会作品 展 12月8日(金)～13日(水)																													
ミューザ川崎シンフォニーホール 4F企画展示室 〈幸区〉 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】12/18(月)、12/29(金)～31(日)		アートとトークによる多様性尊重の社会づくり展 12月2日(土)～17日(日)																																			
中原市民館市民ギャラリー 〈中原区〉 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		中原陶芸研究会 作陶展 12月1日(金)～6日(水)						多摩川フォトクラブ 第1回 写真作品展 12月8日(金)～13日(水)						第3回 パーク水彩展 12月15日(金)～20日(水)※18日休館						太陽絵画教室 絵画展 12月23日(土・祝)～26日(火)																	
川崎市市民ミュージアム 〈中原区〉 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 12月29日～1月3日	企画展	かわさきマイスター20年展 (2F 企画展示室2) 12月14日(木)～2018年1月14日(日)																																			
	アート ギャラリー	川崎ヒストリー展 (2F アートギャラリー1) ～12月3日(日) 国産アニメーション誕生100周年記念展示 にっぽんアニメーション ことはじめ ～「動く漫画」のパイオニアたち～ (2F アートギャラリー2・3) ～12月3日(日)												2017川崎フロンターレ展 (2Fアートギャラリー 1・2・3) 12月16日(土)～2018年1月14日(日)																 ©KAWASAKI FRONTALE							
高津市民館市民ギャラリー 〈高津区〉 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		悠遊フォトクラブ写真展 12月1日(金)～6日(水)						第34回かわさき市民芸術 祭 こども芸術祭 2月8日(金)～13日(水)						川崎の子どもの版画展 12月16日(土)～20日(水)※18日休館						障害者の作品展 12月22日(金)～27日(水)																	
宮前市民館市民ギャラリー 〈宮前区〉 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第16回 宮前区社会福祉大会 12月3日(日)						宮前地区青少年作品展 入賞作品展示会 12月9日(土)～10日(日)						宮前デッサン会作品展 12月15日(金)～20日(水)※18日休館						宮前くみん・シネマ実行委員会 アニメ上映・著作権に関するお話及びスマホ取扱い 12月22日(金)～26日(火)																	
多摩市民館市民ギャラリー 〈多摩区〉 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエくれないおん展覧会 12月2日(土)～5日(火)						多摩書道会書道展 12月8日(金)～13日(水)																													
川崎市岡本太郎美術館 〈多摩区〉 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】月曜日(1月8日を除く)、12月29日～1月3日、1月9日(火)		有料 企画展「岡本太郎とメディアアート 山口勝弘－受け継がれるもの」展 ～2018年1月28日(日) 観覧料：一般900円、高校・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料 ※2017年12 月29日(金)～2018年1月3日(水)休館																																			
麻生市民館市民ギャラリー 〈麻生区〉 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエアツ麻生 フランス額装と額縁 12月1日(金)～6日(水)						川崎市教育委員会 かわさきふれあい作品展 12月8日(金)～13日(水)						第23回 しゃらく麻生写真展 12月15日(金)～20日(水)※18日休館						長沢中保護者(OB) カメラサークル 写真展 12月22日(金)～24日(月)																	

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／12月14日(木)～2018年1月14日(日)

かわさきマイスター20年展

●会 場：2F企画展示室2 ●観覧料：無料

川崎市では、平成9年度より現役の優れた技術・技能職者を「かわさきマイスター」として認定しており、今年で20周年を迎えました。本展では、作品や実演を通じてマイスターの活動を紹介します。



企画展／12月16日(土)～2018年1月14日(日)

2017川崎フロンターレ展

●会 場：2Fアートギャラリー1・2・3

※アートギャラリー2は2018年度川崎フロンターレ後援会
会員限定エリアとなります。

●観覧料：無料

今年の川崎フロンターレの活躍を、オフィシャルカメラマンによる試合写真や映像、選手ゆかりの資料等でふり返ります！



©KAWASAKI FRONTALE

★関連プログラム

アトリエ体験講座(フロンターレ編)

川崎フロンターレのマスコットキャラクター「ふろん太」と「カブレラ」を描いた年賀状を、シルクスクリーン(版画)で作ってみよう！

●日時：12月16日(土) ●参加費：無料

ふろん太&カブレラ記念撮影会

新成人の皆さんはもちろん、どなたでも参加OKです！

●日時：2018年1月8日(月・祝) ●参加費：無料

*時間など詳細は後日ホームページでお知らせします。

*そのほか「ゲフラ(応援旗)づくり」や「チャリティートークショー」など、毎年恒例の多彩なイベントも鋭意企画中！

映 画 上 映

- 料金：1プログラムにつき
一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

■チェコ・アニメーション名品集(当館所蔵作品より)

期間：12月2日(土)～10日(日)の土日

イジ・トルンカ監督による親子で楽しめる人形アニメーションや、ブラックユーモアあふれるシュヴァンクマイエル監督作品など、当館所蔵のチェコ・アニメーションの名作を上映。魔法のような作品世界をご堪能ください！
(短編集3プログラム)

- トルンカ短編集(親子で楽しめる)
12月2日(土)11:30、12月3日(日)11:30、12月9日(土)14:00

- トルンカ『善良な兵士シュベイク』集(親子で楽しめる)
12月2日(土)14:00、12月10日(日)11:30

- トルンカ+シュヴァンクマイエル短編集
12月3日(日)14:00、12月9日(土)11:30、12月10日(日)14:00

■川崎ゆかりのゴジラ映画

(「川崎フロンターレ展」「かわさきマイスター20年展」連携上映・かわさき150万人都市記念)
期間：12月17日(日)・23日(土・祝)・24日(日)

3日限定！ご好評につき、ご当地映画『シン・ゴジラ』をアンコール上映！是非、小さなお子様も楽しめる川崎ゆかりのゴジラ作品とあわせてお楽しみください！

- 『シン・ゴジラ』
12月17日(日)14:00、12月23日(土・祝)14:00、
12月24日(日)11:30/14:00

鎌倉・横浜を縦断して武蔵小杉に現れたゴジラに対して、多摩川河川敷を防衛線とした「タバ作戦」が実行される！

- 『ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃』(親子で楽しめる)
12月17日(日)11:30、12月23日(土・祝)11:30

川崎市に住む謎っ子小学生を主人公にしたファンタジー作品。川崎区や幸区でロケ撮影が行われた。



「コントラバス物語」



『善良な兵士シュベイク 第1話 コニャックの巻』



「天使ガブリエルと驚鳥夫人」



TM & ©2016 TOHO CO.,LTD.



TM & ©1989 TOHO CO.,LTD.

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533

【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅南口側バス約20分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休 館 日】毎週月曜日、12月29日(金)～2018年1月3日(水)

http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中！

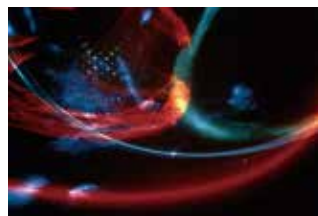


川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

企画展／開催中～2018年1月28日(日)

「岡本太郎とメディアアート 山口勝弘－受け継がれるもの」展

アヴァンギャルドの一匹狼として、戦後日本の美術界にノンと突きつけた岡本太郎ですが、同時に分野を超えた新しい芸術の展開を求める活動の中では、そこに集う若い芸術家達に惜しみのない支援を欠かしませんでした。その精神を受け継ぎ、時代に先駆け独自の表現を確立していったアーティストに山口勝弘がいます。本展では岡本太郎から山口勝弘、そして彼らの活動の先に開花したメディアアートを担う現代アーティスト10人の作品を紹介し、岡本太郎の展示空間でコラボレーションします。



田中敬一「LUMINOUS」2014年



岡本太郎(夜)

展覧会料金等

料 金：一般900(720)円、高校・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料
()は20名以上の団体料金

休館日：月曜日(1月8日を除く)、11月24日(金)、12月29～1月3日、1月9日(火)

◆無料ギャラリースペース

2017年11月3日～2018年1月28日まで、館内一部工事にともない、企画展「岡本太郎とメディアアート」展は常設展示室での開催となります。そのため、館内の無料スペースにて、岡本太郎の彫刻や立体作品を展示いたします。あわせてぜひご覧ください。※常設展は休室となります。予めご了承ください。



岡本太郎(ノブ)



岡本太郎(こどもの顔)

◆関連イベント

毎週末！動く巨大「パイラ人」美術館に出現！

高橋士郎の気腹ロボット・バボットが岡本太郎のデザインした宇宙人「パイラ人」となって美術館に登場します。

- 日時：会期中の土、日、祝日(年末年始を除く、雨天中止)
10:00～16:00

- 場所：岡本太郎美術館入口(屋外)

「伊藤尚末フジギ工作シリーズ」

- 講師：伊藤尚末 ●場所：ガイダンスホール ●定員：各回とも20名
- 対象：小学生以下(小学3年生以下は保護者同伴)
- 料金：ミュージアムショップで制作キット(1500円)を購入
- 申込：電話での受付(11月10日10:00から受付開始。)

①バラバラ影絵箱を作ろう！

電子回路を組み立ててLEDを点滅させ、バラバラ漫画を作ります。

- 日時：12月10日(日)1回目10:30～12:00 2回目 14:00～15:30

②イルミラマを作ろう！

LEDをランダムに光らせる電子回路をつかい幻想的なイルミネーションを作ります。

- 日時：12月17日(日)1回目10:30～12:00 2回目 14:00～15:30

「VRでつくらう！

キミだけのTAROミュージアム！」

工学部の学生と簡単なプログラムにふれながら、自分だけの岡本太郎空間を作ります。岡本太郎の世界をプログラミングしよう。

- 日時：12月23日(土・祝)
1回目11:00～13:00 2回目 14:00～16:00
- 協力：日本工業大学フィジカルコンピューティングチーム
- 場所：ガイダンスホール ●対象：1回目小学1～3年生、2回目小学4～6年生
- 定員：各回15人 ●料金：無料
- 申込：電話での受付(11月10日から受付開始。)

※その他、関連イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休 館 日】月曜日(1月8日を除く)、11月24日(金)、12月29～1月3日、1月9日(火)

http://www.taromuseum.jp

●ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



ホームページ

Facebook



アルテリオ小劇場

川崎市アートセンター開館10周年記念事業

しんゆりシアター劇団わが町第7回公演
クリスマス・キャロル

原作:C.ディケンズ 翻訳:村岡花子 脚色・演出:ふじたあさや

脚色:原田 亮(company ma)・上崎 実

人を愛し自分を変えることで世界は変わる

開館10周年を記念し、1843年に出版されて以来、世界中で長い間愛され続けているディケンズの名作『クリスマス・キャロル』を、市民劇団・劇団わが町が上演。音楽もたっぷり取り入れ、子どもから大人まで楽しめる！

クリスマスイブに冷酷無慈悲なスクルージに会いに来たのは…

2017年12月14日(木)～17日(日) ※開場は開演の30分前

	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)
13:00				モミ組
14:00			ヒイラギ組	
17:00				ヒイラギ組
18:00			モミ組	
19:00	モミ組	ヒイラギ組		

【出演者】劇団わが町劇団員／客演:古舘一也、森山容子(company ma)

【チケット】一般 2,500円／子ども(4歳～中学生) 1,000円／親子ペア 3,000円(全席指定・税込)

※3歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※親子ペアは一般1名+子ども1名 ※各組配役を一部変更して上演致します。



第57回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

江戸の侠客・新門辰五郎をモチーフにした上方落語の人情噺「しじみや」を、2017年9月に三代目を襲名したばかりの桂小南が披露！

さらに2018年5月に真打への昇進が決定した女流講談師・神田蘭も登場し、華やかに盛り上げます。

2017年12月23日(土・祝) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】桂 小南、桂米多朗、神田 蘭、春風亭かん橋

【チケット】一般2,000円／学生1,000円(全席自由・税込) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



桂 小南

桂米多朗

神田 蘭

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

- プレミアムセット:4枚1組 6,000円
- 大旦那衆セット:10枚1組 12,000円※有効期限は2018年3月公演まで。払い戻し不可。

【お知らせ】仲入りで演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

チケット取扱い:川崎市アートセンター

[TEL] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く) [WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)

- しんゆり寄席の学生券は窓口のみ取扱い。要学生証提示。またセット券は窓口とお電話のみ取扱い。

速報

しんゆりジャズスクエアvol.32

名作曲家アントニオ・カルロスジョビンのボサノバ名曲特集

2018年1月26日(金) 19:00開演

【出演者】KAREN(vo)、酒井麻生代(fl)、廣瀬みちる(p)、田辺充邦(gt)、佐瀬 正(b)

※出演者は変更になる場合がございます。



THE OTHER SIDE OF HOPE 希望のかなた

Aki Kaurismäki interview

アキ・カウリスマキ監督インタビュー

私がこの映画で目指したのは、難民のことを哀れな犠牲者か、さもなければ社会に侵入しては仕事や妻や家や車をかすめ取る、ずうずうしい経済移民だと決めつけるヨーロッパの風潮を打ち砕くことです。

ヨーロッパでは歴史的に、ステレオタイプな偏見が広まると、そこには不穏な共鳴が生まれます。臆せずに言えば『希望のかなた』はある意味で、観客の感情を操り、彼らの意見や見解を疑いもなく感化しようとするいわゆる傾向映画※です。

そんな企みはたいてい失敗に終わるので、その後に残るものがユーモアに彩られた、正直で少しばかりメランコリックな物語であることを願います。一方でこの映画は、今この世界のどこかで生きている人々の現実を描いているのです。

※傾向映画とは 1920 年代にドイツおよび日本でおこった、商業映画の中で階級社会、および資本主義社会の矛盾を暴露、批判した左翼的思想内容をもつプロレタリア映画。

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝ユーススペース)

About the film

作品について

2017年 | フィンランド | カラー | 1h38

監督・脚本：アキ・カウリスマキ

出演：シェルワン・ハジ、サカリ・クオスマネン

シリア難民、ヘルシンキに現る

アキ・カウリスマキ最新作

フィンランドの首都ヘルシンキ。人生をやり直すため、やる気のない従業員ごとレストランを買い取ったヴィクトロムは、シリア難民のカーリドと出会う。名匠カウリスマキが、世界を覆う不寛容に対抗する、社会の片隅に生きる人々の心優しい連帯を描いた秀作。

12.23-12.28

2018.1.4-1.19



ル・コルビュジエとアイリーン 追憶のヴィラ

2015年 | ベルギー、アイルランド | カラー | 1h48
監督・脚本：メアリー・マクガキアン
出演：オーラ・ブラディ、ヴァンサン・ペレーズ、ドミニク・ビノン

12.2-12.8

南仏コートダジュールに建てられた白亜の別荘。長らくル・コルビュジエの作品とされていた傑作建築は女性家具デザイナー、アイリーン・ 그레이の作品だった。1920年代のフランスを舞台に、天才建築家にその才能を嫉妬された女性芸術家の半生を美しい映像で描き出す。



婚約者の友人

2016年 | フランス、ドイツ | モノクロ&カラー | 1h53
監督・脚本：フランソワ・オゾン
出演：ビエール・ニネ、パウラ・ペーア

12.2-12.15

第1次世界大戦の敗戦国ドイツ。戦死した婚約者の両親とともに暮らすアンナは、ある日、婚約者の墓で祈るフランス人青年と出会う。学生時代の友人だと名乗る青年を、アンナは婚約者の両親とともに歓待するのだが…。戦争の悲劇をミステリータッチで描く秀作。



女神の見えざる手

2016年 | フランス、アメリカ | カラー | 2h12
監督・製作総指揮：ジョン・マッデン
出演：ジェシカ・チャステイン、マーク・ストロング、サム・ウォーターストン

12.2-12.15

国会議員たちを誘導し、政治にクライアントの利益を反映させていくロビイストと呼ばれるプロ集団。このアメリカ特有の政治システムで、天才と呼ばれたエリザベスは、キャリアを打ち捨て、統制立法案を成立させるための闘いを開始する。手に汗握る政治サスペンス。



ロダン カミューと永遠のアトリエ

2017年 | フランス | カラー | 2h00 | PG12
監督・脚本：ジャック・ドワイヨン
出演：ヴァンサン・ランドン、イリア・イジュラン

12.9-12.22

没後100年を迎えた天才彫刻家オーギュスト・ロダン（1840-1917）。壮年期の彼のアトリエには、女性彫刻家で愛人のカミュー・クローデルもいて、多くの助手たちやモデルたちとともに精力的な創作が繰り広げられている。創作現場でのロダンの活写されていく秀作。



ゴッホ 最期の手紙 日本語吹き替え版

2017年 | イギリス、ポーランド | カラー | 1h37
監督・脚本：ドロタ・コビエラ、ヒュー・ウェルチマン
声の出演：山田孝之、イッセー尾形

12.9-12.22

ゴッホが描いた肖像画や風景画が動き出す、驚きのアニメーション。1891年、南フランスのアルル。郵便配達父から、1年前に自殺したオランダ人の画家ゴッホの、弟テオに宛てた手紙を託されたアルマンの旅。そして最後に明らかにされるゴッホの死の真相とは！?



笑う故郷

2016年 | アルゼンチン、スペイン | カラー | 1h57
監督・撮影：ガストン・ドゥプラット、マリアノ・コーン
出演：オスカル・マルティネス、ダディ・ブリエバ

12.9-12.22

バルセロナの豪邸に暮らすノーベル賞作家が、気まぐれから、アルゼンチンの生まれ故郷の「名誉市民」の称号授与の申し出を受け入れ、40年ぶりに帰郷する。すっかり廃れた町で彼を待っていた幼なじみや元恋人との再会は、思いがけない事態に彼を追いこんでいく。



リュミエール！ 日本語ナレーション版

2016年 | フランス | モノクロ | 1h30
監督・脚本・編集：ティエリー・フレモー
日本語版ナレーション：立川志らく

12.16-12.28

1895年、リュミエール兄弟によって映画が発明された。「工場の出口」「列車の到着」の有料上映で成功した兄弟は、日本やエジプトなど世界中にカメラマンを派遣し、当時の風物を記録した。そのなかから精選された108本が、立川志らくの名調子によって紹介される。

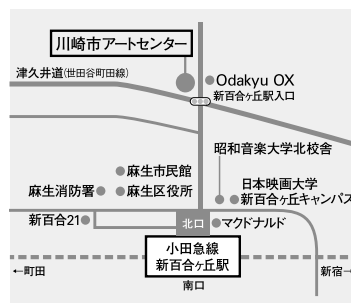


ジュリーと恋と靴工場

2016年 | フランス | カラー | 1h24
監督・脚本：ポール・カリ、コスティア・テスト
出演：ボーリーヌ・エチエンヌ、オリヴィエ・シャントロー、フランソワ・モレル

12.16-12.22

25歳、職なし、スキルなし、彼氏なしのジュリーが、ひょんなことから就職した靴工場は、グローバル化の波にさらされ中国移転が決定！ジュリーは先輩の女性靴職人たちと真っ赤な靴をはき、移転反対に立ち上がる。色彩鮮やかに綴られる楽しい社会派ミュージカル。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp
http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第3火曜日
のお楽しみ
2017

ラゾーナ寄席

第66回

2017年

12月19日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…春風亭一之輔・初音家左橋・柳家花ん謝・橘家かな文

■入場料…全席自由2,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



春風亭一之輔

野村万蔵による芸能サロン

狂言を楽しもう

日時

2018年1月6日(土)

14:00開演(開場13:30)

場所

川崎能楽堂

(JR川崎駅東口徒歩5分)

料金

3,000円

(全席指定)

狂言のお話●野村万蔵

狂言●「樋の酒」野村万蔵

狂言●「蚊相撲」野村万蔵



野村万蔵



蚊相撲

■チケット発売／2017年11月29日(水)AM9:00より 川崎能楽堂窓口にて販売(先着順)

(*残券があれば、同日正午より電話でも販売いたします)

■受付時間／窓口・電話 9:00~17:00 *但し、発売初日の電話受付は正午から。

■チケット取扱・お問合せ／川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37 TEL:044-222-7995 FAX:04-222-1995

◎主催／公益財団法人川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F TEL:044-222-8821

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また出演者等変更になる場合もございますのでご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL:044(222)8821(代表) FAX:044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年12月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL:044-542-2311